



# みなみっ子

25号

令和8年6月10日(水)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

学校教育目標 自立 協働 創造

## 学校便りについて「変わる時代、変わる学び」～25号の節目に、保護者の皆様へ伝えたいこと～

新学期が始まってから2ヶ月余り。子どもたちの元気な声とともに、本校の学校便りも本日で「第25号」を迎えることができました。これほど頻繁に発行しておりますのは、日々の学校の様子はもちろん、今、教育の現場で起きている「大きな変化」を、リアルタイムに保護者の皆様と共有したいという強い想いがあるからです。時折、保護者の方から「今の小学校の授業は、私たちの頃とずいぶん違いますね」というお声をいただきます。まさにその通りです。現在、学校は国が定める「学習指導要領」に基づき、これまでの教育から大きな転換期を迎えています。

### 1 「覚える学習」から「使う学習」へ

保護者の皆様の時代は、先生が黒板の前に立ち、子どもたちが静かにノートを取って「知識を暗記する」というスタイルが主流でした。しかし、インターネットを開けば一瞬で答えが見つかる現代において、大切なのは「どれだけ知っているか」ではなく、「知っていることを使って、どう課題を解決するか」です。今の授業では、子どもたちが机を並べて話し合ったり、タブレットを使って自分の考えを発表したりする「主体的・対話的で深い学び」を重視しています。テストで100点を取るだけでゴールではなく、「正解のない問いに対して、仲間と協力して納得のいく答えを導き出す力」。これこそが、子どもたちが将来、予測困難な社会を生き抜くための「本物の学力」だと考えています。

### 2 スマホ社会を生きる子どもたちと、家庭での約束

学校での学びが変わる一方で、子どもたちを取り巻く環境（デジタル社会）も急速に変化しています。学校でも情報モラル教育を行っています。スマートフォンやタブレットの使い方は、学校の力だけで解決できる問題ではありません。スマホは便利な道具ですが、使い方を一歩間違えれば、睡眠不足や学力低下、さらには人間関係のトラブルに直結します。ぜひご家庭でも、今一度「我が家のルール」を親子で話し合ってみてください。大事なものは禁止することではなく、「自分で自分をコントロールする力」を育てることです。大人がお手本を示すことも、何よりの教育です。

### 3 「言葉」を紡ぐ力を育てる

大人も含め子どもたちの間で「やばい」「きもい」「うざい」といった、短い言葉だけで感情を片付けてしまう傾向が見られます。人の心はとても複雑で豊かです。「うざい」の裏には、「悔しかった」「恥ずかしかった」「悲しかった」という、たくさんの言葉が隠れています。自分の気持ちを適切な言葉で相手に伝えること、そして相手の言葉の裏にある気持ちを想像すること。この「伝わりにくい言葉」を丁寧に紡ぐ力を、学校と家庭が連携して育てていきたいと考えています。家庭での何気ない会話の中で、お子様の言葉の「背景」にある気持ちに、ぜひ耳を傾けてあげてください。

教育とは、学校だけで完結するものではありません。学校と家庭が同じ方向を向き、同じ目線で子どもたちを支えていくこと。それこそが、子どもたちの健やかな成長の土台となります。私のペンは今後も止まる予定はありません。不定期にはなりますが、これからも皆様に届けたい大切なメッセージを、このお便りを通して発信し続けてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 変わる時代、変わる学び：学校と家庭で共に育む「本物の学力」

### 教育スタイルの大きな転換

#### 「暗記」から「知恵の活用」へ



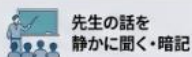
「暗記」から「知恵の活用」へ  
知識の量ではなく、知っていることを使って課題を解決する力を重視します。

#### 主体的・対話的で深い学び



主体的・対話的で深い学び  
仲間と協力し、正解のない問いに対して納得のいく答えを導き出します。

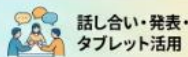
これまでの学習（保護者世代）



先生の話を  
静かに聞く・暗記

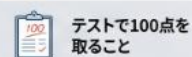


学習  
スタイル



話し合い・発表・  
タブレット活用

これからの学習（現在）



テストで100点を  
取ることに  
ゴール



納得解を導き出す力  
(本物の学力)

### 家庭で育む「自律」と「言葉」

#### スマホを「使いこなす」自律心



スマホを「使いこなす」自律心  
禁止ではなく、親子でルールを決め、自分をコントロールする力を育てます。

#### 感情を丁寧に紡ぐ言葉の力



感情を丁寧に紡ぐ言葉の力  
短い言葉で片付けず、言葉の背景にある複雑な気持ちを想像し伝えます。



#### 学校と家庭の連携が成長の土台

大人がお手本を示し、同じ目線で子どもを支えることが不可欠です。

時代や学習指導要領の変化に伴い、学校教育は「知識の暗記」から「対話を通じた課題解決」へと大きくシフトしています。この変化を支え、子どもたちが予測困難な社会を生き抜く力を身につけるためには、学校と家庭の緊密な連携が不可欠です。